

第6次白老町総合計画策定委員会（第1回）会議要旨

日 時：平成31年4月25日（木）9：30～11：00

場 所：役場第2会議室

出席者：戸田町長（委嘱状交付・あいさつのみ）

岡村委員長、古俣副委員長、安藤委員、大黒委員、久保委員、下河委員、川崎委員、
有村委員、鈴木委員、谷野委員、中谷委員 11名

事務局：工藤課長、温井主幹、安藤主任、金子主事、吉井主事

1. 委員紹介・委嘱状交付

- 事務局より各委員を紹介した後、自己紹介。
- 委員紹介後、町長より外部委員（4名）に対して委嘱状を交付。

2. 町長挨拶

- 社会構造上、人口減少は進んでおり、今後も歯止めがかからない状況にある。人口減少を受け止めた計画づくりが求められる。
- 計画づくりには、地域経営感覚が求められる。また、将来を担う人材育成と、高齢者が輝ける生きがいくりに取り組んでいかなければならない。
- 財政改革を行うには政策の取捨が重要となってくるが、行政が政策をやめることのハードルは高く、町民の理解をいただかなければならない。将来を見据えた財政改革を行っていきたい。
- 将来の白老が明るいまちづくりになるようお力添えをいただきたい。

3. 策定委員会の体制と役割について

- 事務局から説明（資料1） 質疑なし

4. 白老町の現状について（人口・産業構造・社会基盤・財政状況等）

- 事務局から説明（資料2） 質疑なし

5. 第5次白老町総合計画の概要について

- 事務局から説明（資料3） 質疑なし

6. 第6次白老町総合計画策定方針について

- 事務局から説明（資料4）
- 意見等

【谷野委員】全国どの自治体も今後人口減少となることが見込まれるため、右肩上がりの計画は時代にそぐわない。やらないことを明確にし、町民に説明する必要がある。

【中谷委員】象徴空間の開設は定住人口増につながる最大のチャンス。このチャンスを逃さないためにも、役場内での推進体制を強化し、どう町をPRしていくべきか考えていくべきである。また、将来を見据えながらも、その時々、柔軟に対応できる、躍動感のある取組みを進めてほしい。

【鈴木委員、有村委員】人口減少、少子高齢化の背景をしっかりと捉えた方針であり、問題ない。

【鈴木委員】CS 調査はどうしたら定住したくなるのか、何が定住の支障となるのかを分析するためのもの。その原因追求について協力したい。

【有村委員】人口減少を踏まえて、近隣自治体との広域、連携を図ることは大切。SDGs の理念を取り入れる考えは良いと思う。

【古侯副町長】象徴空間と人口減少の双方から、今後のまちを見通すことが重要である。

7. 意見交換

○意見等

【大黒委員】本町の人口減少は S 6 0 年からすでに始まっている。これまでは人口増を目標とした計画であったが、第 6 次ではどこまで踏み込んだ計画にできるのかイメージがつかない。内容が今までと同じものになってしまっは意味がない。

【下河委員】個別計画と総合計画をどういう視点で位置付けていくのか整理が必要。

【久保委員】今後、人口減により町税も減る。そうすると町としてやれるものが限られていく。町の特色を磨き、人口を集める努力をし、人口減少を食い止めていかなければならない。

【川崎委員】自分のまちへの愛着、誇りを高めていく必要がある。

【安藤委員】教育現場では P D C A サイクルを回す期間が短くなっている。総合計画においても、こまめな見直しが必要ではないか。

【岡村委員長】人口減少はある程度受入れなければならない。その視点をもち計画策定に努めたい。

【鈴木委員】前回策定時は人口が減少することが分かっている、人口増加を目指す計画内容であった。今求められている計画は、人口減が進む中、いかに生活の質をあげることができるかである。

税収不足やインフラが維持できなくなる時代が今後想定されるなか、何をがまんし、何に力を注いでいくか、「選択と集中」が必要となる。また、そのことをデータとともに町民に示し、理解をいただくことが必要である。

社会減が続いているが、これをどう緩和するか考える必要がある。各町で実施している介護予防意識調査等と町民意識調査の結果から、社会減の理由を分析したい。

白老町には国立博物館ができるというプラスの要素もある。交流人口の増を目指し稼げるまちにする必要がある。

【有村委員】総合計画が総論的になるのは仕方のないこと。P D C A サイクルを適切に回すためにも K P I の設定が必要。人口減少問題に対する緩和策・適応策を考え、人口は減るが一人当たりの幸福度は下がらないような計画を目指すべきである。

【谷野委員】地元に残りたいと考えている若者は多い。働く場所の創出が必要である。

【中谷委員】白老への愛着を周りに伝播させていくことが大切である。